

平成 18 年度から平成 22 年度までの年度評価の状況説明について

1 評価委員会による年度評価

評価委員会は、平成18年度から平成22年度の各事業年度における法人の業務実績評価（以下「年度評価」という。）を実施したが、全ての事業年度で「年度計画を着実に実施」、中期目標の進捗状況についても「概ね順調」と評価している。各年度の評価の概要は、下記のとおりである。

〔平成 18 年度〕

（特筆・注目された事項）

- ・教育研究における地域実学主義の打ち出し
- ・初年次教育における全学共通教育の強化
- ・大学と自治体等が、地域における活動や調査・研究、人材育成等様々な分野において相互協力することを目的とした包括協定制度の創設
- ・「もやいすと育成プログラム」の積極的な取組
- ・地域連携センターや学術情報メディアセンターの設置による県民の学習・交流拠点の機能充実

（課題とされた事項）

- ・研究設備の計画的な更新のための設備更新計画の策定

〔平成 19 年度〕

（特筆・注目された事項）

- ・学科を軸とした教育体制の強化
- ・キャリアデザイン教育における全学共通教育の実施
- ・包括協定自治体からの受託研究等による実践的な取組
- ・「くまもとさんち（産地）の食育ビジョン」に基づく取組

（課題とされた事項）

- ・教員個人評価制度及び評価結果の活用法の検討
- ・外部研究資金の応募件数の増加に向けた取組

〔平成 20 年度〕

（特筆・注目された事項）

- ・全学共通の1年次の必修科目として「キャリア形成論」「プレゼミナール」を開講
- ・入学志願者数が増加
- ・各学部学科に学科長、コース長を新たに設置
- ・新たな奨学金制度（「熊本県立大学奨学金」※現在は「学業奨励奨学金」）の創設

（課題とされた事項）

- ・外部研究資金の応募件数及び採択件数の増加に向けた取組
- ・教員個人評価制度及び評価結果の活用法の検討

〔平成21年度〕

（特筆・注目された事項）

- ・入学志願者数が開学以来最高
- ・就職センターを改組し、キャリアセンターを開設
- ・徳富蘆花研究、学際型研究「天草プロジェクト」等プロジェクト型の地域実学研究の蓄積
- ・「大学の地域貢献度ランキング」全国第1位
- ・新たな奨学金制度（「くまもと夢実現奨学金」、「西部電気工業奨学金」、「同窓会紫苑会奨学金」）の創設
- ・県内生活保護世帯の高校生を出願要件とする選抜制度の導入
- ・「県立大学未来基金」の新設

（課題とされた事項）

- ・新規採用教員に対する任期制の導入
- ・管理栄養士国家試験の合格率90%以上とするための支援の強化

〔平成22年度〕

（特筆・注目された事項）

- ・財団法人大学基準協会が実施する認証評価を受審し、同協会の基準に適合
- ・文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程の開設により全ての教育課程において学士・修士・博士課程が完備
- ・地域企業等から提示された研究テーマに応じて学生が卒業研究を行うことで、社会と学生を結びつけ、学生の就業力を育成するプログラムの企画及び文部科学省の補助事業としての採択
- ・大学教員が学内外連携により進める教育・研究活動を地域連携センターが支援する「連携教育研究推進制度」の創設
- ・社会人向けCPD（継続的職務能力開発）教育プログラムを実施

（課題とされた事項）

- ・学位授与方針に基づくカリキュラムの検証の実施
- ・TOEICスコア平均800点以上獲得に向けた取組
- ・管理栄養士国家試験の合格率向上のための取組
- ・外部研究資金の全教員応募に向けた取組

2 法人自己評価と委員会評価の一覧

平成18年度から平成22年度までの5か年度分の評価については、別紙のとおりである。